

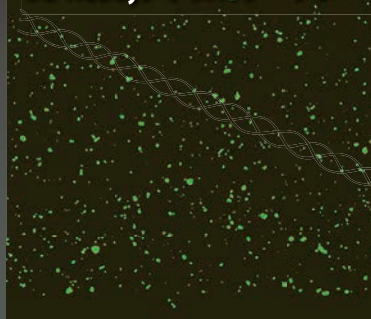
3D Readyアテロコラーゲン

DMEM Low/High Glucose

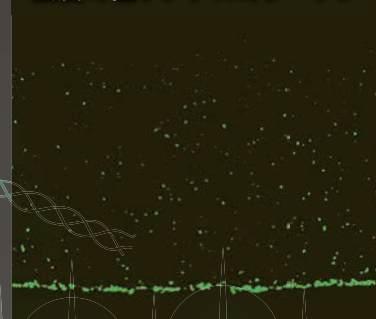


その3D培養沈んでいませんか??

3D Readyアテロコラーゲン



濃度の低いアテロコラーゲン



GFP発現HepG2細胞のゲル内培養において、3D Readyアテロコラーゲンを用いることで、細胞の沈降を抑制することが出来、均一な3D培養を可能にした。
(社内データ)

特長

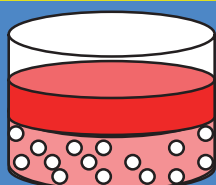
- Ready-to-useの3D培養用アテロコラーゲン
- 細胞と混ぜて温めるだけの簡単操作
- DMEM混合済み (Low/High Glucoseの選択可)

3ステップの安定した3D培養をあなたのラボにも!

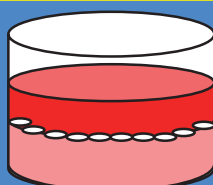


ステップ1：解凍した3D Readyアテロコラーゲンを、細胞懸濁液/細胞ペレットと混合。
ステップ2：実験に合わせてマルチウェルプレート等へ混合液を播種し、37℃に加温。
ステップ3：ゲルが固まったら、ゲル上に液体培地を添加して完了。

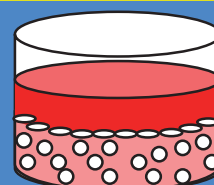
コラーゲンゲル内培養



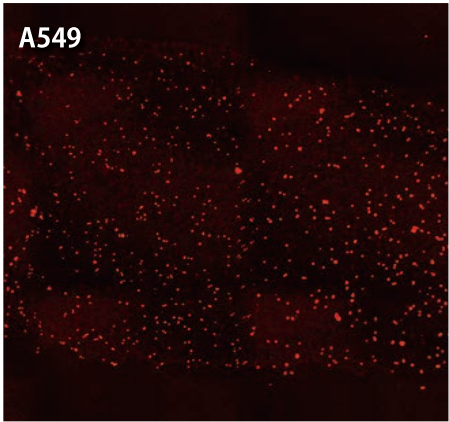
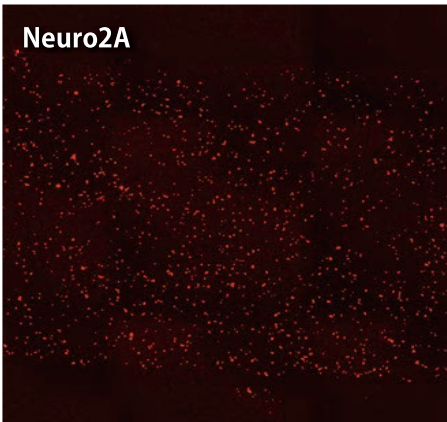
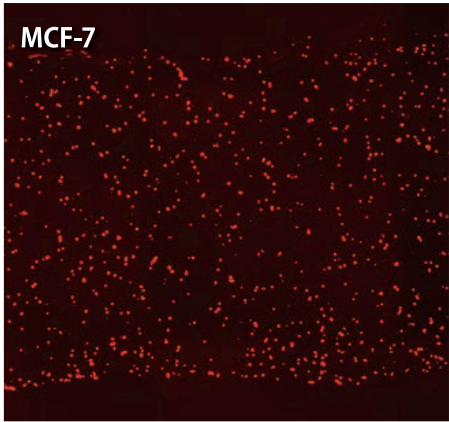
コラーゲンゲル上培養



コラーゲンゲル共培養



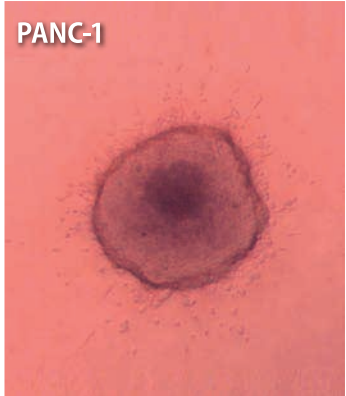
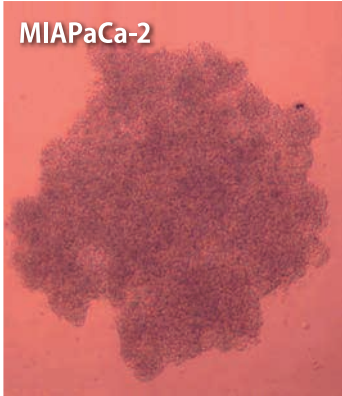
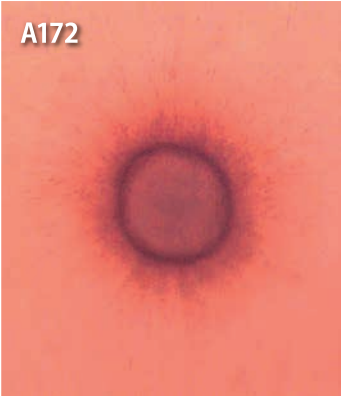
各種細胞を用いた細胞分散性の評価



3D Readyアテロコラーゲンを用いて、Hoechst33342で染色した各種細胞を含むゲルを作製し、ゲル断面を観察した。その結果、ゲル底面への細胞の沈降が抑制され、ゲル上端付近まで細胞分散が観察でき、複数の細胞種にて均一な3D培養が可能であることが示された。

(社内データ)

がん細胞スフェロイドからの細胞浸潤評価



低接着プレートを用いた各種細胞のスフェロイド形成後、3D Readyアテロコラーゲンをウェル内に添加してゲル内培養したところ、培養2日後には全ての細胞種において細胞浸潤が観察され、3D Readyアテロコラーゲンは顕微鏡観察にも十分な透明度であることが示された。

(データ提供：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 藤田真由美主任研究員)

価格

製品番号	製品	包装	無菌保証	保管	価格(税込)
3D-LG01	3D ReadyアテロコラーゲンDMEM-LG1(Low Glucose)	12mL/本	あり	冷凍	¥10,780
3D-LG05	3D ReadyアテロコラーゲンDMEM-LG5 (Low Glucose)	12mL/本×5本			¥46,200
3D-HG01	3D ReadyアテロコラーゲンDMEM-HG1(High Glucose)	12mL/本			¥10,780
3D-HG05	3D ReadyアテロコラーゲンDMEM-HG5 (High Glucose)	12mL/本×5本			¥46,200



取扱説明書
カタログ



参考文献
リスト



よくある
お問い合わせ

Webサイトから全ての情報をあなたの手元に。

atelocollagen.com



本製品は研究用試薬です。人体には使用しないで下さい。
AteloCell®は株式会社 高研の登録商標です。

© 2020-2021 KOKEN CO., LTD. C-1-830-9-01-02

お問い合わせ先



株式会社 高研

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 TEL 03-3816-3525 FAX 03-3816-3570
https://www.kokenmpc.co.jp E-Mail support@atelocollagen.jp